

学 力 検 査
国 語

注 意

- 一 指示があるまでは、この用紙を開いてはいけません。
- 二 解答用紙は、この用紙の裏面です。
- 三 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。ただし、の欄には、何も書いてはいけません。
- 四 字数を指示した解答については、句読点、かぎ（「」）なども一字に数えなさい。
- 五 検査問題は七ページで、問題は から まであります。

一 次の①～⑩の傍線部について、漢字は平仮名に、片仮名は漢字に改めなさい。

- ① はがきに宛先を書く。
- ② 名画を見て衝撃を受ける。
- ③ 他人に無理を強いる。
- ④ 鮮やかな色の花が咲く。
- ⑤ チームの士気を鼓舞する。
- ⑥ 毛糸で手袋をアむ。
- ⑦ 朝からコナユキが降る。
- ⑧ 庭に桜をシヨクジユする。
- ⑨ 事態のスイイを見守る。
- ⑩ 公園のごみをヒロウ。

二 次の文章は、昭和四十年代に、ある地区で電気が初めて通じたことを祝う式典の場面を描いたものである。式典の中で、父親の安雄は、小学生の娘の朝美が児童代表として作文を朗読しているのを知っている。安雄は式典が終わり次第、飼っていた牛の「桃子」を売却し、その代金で電気洗濯機を買うつもりでいる。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権に配慮して
掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(注) しそうな声を出した。
得心!! 納得すること。

静子!! 安雄の妻。朝美の母親。

「桃子」(熊谷達也)による。

著作権に配慮して掲載を控えています

問一 まったく は、どの言葉を修飾しているか。最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 臆する イ 見せずに ウ 朗読を エ 続ける

問二 さすが自慢の娘である とあるが、次の 内の文

は、このときの安雄の気持ちについて、本文を踏まえてまとめた一例である。

A、

B に入る最も適切な

言葉を、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただし、

字数は

A、

B

にそれぞれ示した字数とする。

「六人家族です」という言葉から、最初は娘が家族の人数を間違えたと思い、A(五字)を感じたが、その後の内容から大人の意表をつく見事な表現だと気づき、朝美が自分の娘であることにB(四字)を感じている。

問三 桃子だけに寂しい思いをさせるのは可哀相ではありませんの

中から、形容詞をそのまま抜き出して書きなさい。また、この場合の活用形を書きなさい。

問四 女親の静子のほうは、少々見方が違うようだ とあるが、朝

美の作文に対する静子の方として最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 作文で朝美がうそをついてしまったことで、家族に対する地域の人々からの信頼がなくなったという見方。

イ 作文で朝美が桃子を家族の人数に含めることで、地域の人々に作文の出来をほめられたかったという見方。

ウ 作文で朝美がわざと家族は六人だと言い切ることで、母親である自分に不満を伝えたかったという見方。

エ 作文で朝美が桃子のことを取り上げることで、父親の考えを変えようとしたという見方。

問五 感謝すべきことである とあるが、安雄はなぜ感謝すべきと考えたのか。三十五字以上四十字以内でまとめて書きなさい。ただし、「本当は」、「作文」という二つの言葉を使うこと。

問六 我が子に向けるような笑顔で声をかける とあるが、このときの静子の気持ちとして最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 安雄が洗濯機を買わなかったことを残念に思うよりも、桃子と別れずにすむことがうれしくて笑っている。

イ 安雄が自分のために洗濯機をあきらめていないことを知り、うれしくて笑っている。

ウ 安雄が桃子を売却せず、洗濯機を買ってもらえなくなってしまうと失望を笑ってごまかそうとしている。

エ 安雄が地域の人々の考えに影響されて、すぐに意見を変えることにあきれて笑っている。

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

「生きる力をさがす旅 子ども世界の文化人類学」(波平恵美子)による。

問一 に入る最も適切な言葉を、ア～エから選び、符

号で書きなさい。

- ア では
- イ しかも
- ウ つまり
- エ しかし

問二 生き¹ と同じ活用の種類の動詞を含むものを、ア～エから選

び、符号で書きなさい。

ア 弟はいつも家で学校のことを楽しそうに話す。

イ 白い鳥が春の温かい日光を浴びる。

ウ 友人から急に相談を受ける。

エ 妹は自分の部屋で毎日読書をする。

問三 「文化」はいちいち意識されないことがとても重要だ² とあ

るが、次の 内の文は、「文化」がいちいち意識され

ないことが重要である理由について、本文を踏まえてまとめた

一例である。 A B に入る最も適切な言

葉を、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただし、字

数は A B にそれぞれ示した字数とす

る。

「文化」のルールに従って生きている人にとっては、

A (四字) のこととして受け入れているルールの意味を

一つひとつ議論していたら、とても B (十字) が必要とな

り、円滑に生活を送ることができなくなるから。

問四 困³った問題を起こすことがあります とあるが、どのような

点が「困った問題」であると筆者は述べているか。最も適切なもの

のを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 文化を異にする人々が、互いに相手を説得しようとして

も、相手を納得させるだけの文化の説明ができず、相手の文

化の一部を批判し合う状態になってしまう点。

イ 文化を異にする人々が、互いに対立を避けるために、共通したルールを作ろうとする結果、自分たちの文化を否定してしまう点。

ウ 文化を異にする人々が、互いに論理的に筋道立った説明をすることをあきらめ、互いの文化の違いに疑問を抱かなくなってしまう点。

エ 文化を異にする人々が、互いの文化を理解するために時間をかけて話し合った結果、生活が成り立たないようなルールができてしまう点。

問五 4 相手を頭から否定したり憎んだりしないでしよう とあるが、相手を頭から否定したり憎んだりしないためには、どのようにする必要があるかと筆者は考えているか。五十字以上五十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「文化の」という書き出しに続けて書くこと。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

太田左衛門大夫持資は上杉宣政の長臣なり。鷹狩に(身分の高い家来である)

出て雨に逢ひ、ある小屋に入りて蓑を借らんといふに、(借してくれ)

若き女の何とも物をば言はずして、山吹の花一枝折りて出し1

ければ、「花を求むるにあらず」とて怒りて帰りしに、(花がほしいのではない)

これを聞きし人の、「それは、(聞いた人が)

七重にも八重にも花は咲けども山吹の

七重にも八重にも花は美しく咲くけれども山吹の
み(実の一つさえないのが悲しいように、貸す蓑が一つもないことが悲しい)の一つだ二に三なきぞ悲四し五き六

といふ古歌のころなるべし」といふ。

(古い和歌に託して答えた心情でしょう)

持資驚一

き二て、2 それより歌に志を寄せけり。
(和歌の奥深さにはっと気づいて)
(歌道に心をひかれるようになった)

「常山紀談」による。

(注) 蓑＝雨具。

みの＝ここでは山吹の実と蓑の意味を掛けている。

問一 いふを現代仮名遣いに改め、全て平仮名で書きなさい。

問二 1 山吹の花一枝折りて出しければ とあるが、山吹の花一枝を差し出たときの若い女の心情として、最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 雨の中で咲く山吹のけなげな美しさをあなたに知ってほしい。

イ 蓑を貸してあげたいが、貸す蓑が一つもないことが悲しい。

ウ 見ず知らずの私から蓑を借りることは失礼だと気づいてほしい。

エ 貸す蓑はないが、雨のおかげであなたに出会えたことがうれしい。

問三 それより歌に志を寄せけり とあるが、次の [] 内の

の文は、持資が歌道に心をひかれるようになった理由をまとめた一例である。 [A]、 [B] に入る最も適切な

言葉を、それぞれ現代語で書きなさい。ただし、字数は

[A]、 [B] にそれぞれ示した字数とする。

持資は、若い女が自分の心情を [A(八字)]、何も言わず

に山吹の花を差し出した意味が理解できず、怒って帰ってしまつたが、ある人に若い女の真意を教えられたことをきっかけに、

[B(六字)] にはっと気づいたから。

五

下のグラフはある中学校の三年生を対象に行った「友達との話し合い」についての調査の結果の一部をまとめたものである。このグラフを見て、後の問いに答えなさい。

問一 次の [] 内の文章は、「友達と話し合いをすること」

について、グラフから分かることをまとめた一例である。

[] に入る適切な言葉を、十字以上十五字以内で書きなさい。

友達との話し合いの場面では、ほとんどの生徒が友達の見を最後まで聞いたり、友達の考えを受け止めて、自分の考えをもったりすることができると回答していることが分かる。これに対して、友達の前で自分の考えや意見をうまく発表することについては、 [] と回答していることが分かる。

問二 友達と話し合うときに、一番大切だと思ふのはどのような

とか。あなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成と

し、第一段落ではあなたが一番大切だと思ふことを、第二段落ではそのように考えた理由を、具体的な例、あるいはあなたの体験を交えて書きなさい。ただし、次の《注意》に従うこと。

《注意》 (一) 題名や氏名は書かないこと。

(二) 書き出しや段落の初めは一字下げること。

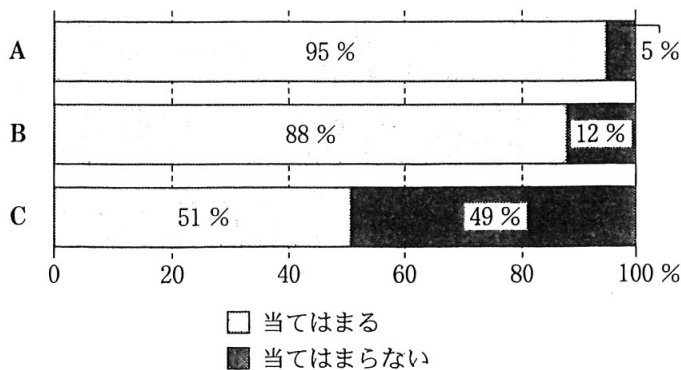
(三) 六行以上九行以内で書くこと。

「友達との話し合い」

【質問】 次のことは、あなたに当てはまりますか。

- A 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- B 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができる。
- C 友達の前で自分の考えや意見をうまく発表することができる。

【グラフ】



国語解答用紙

の欄には、何も記入しないこと。

一	①	②	③	いる	④	やかな	⑤
	⑥	む	⑦	⑧	⑨	⑩	う

二	問一	
	問一A	
	問一B	
	問三	形容詞
		活用形
	問四	
	問五	
		いじつになったから。
	問六	

三	問一	
	問二	
	問三A	
	問三B	
	問四	
	問五	文化の
		いじつが必要だと考えている。

四	問一	
	問二	
	問三A	
	問三B	

五	問一	
	問二	
		5
		10
		15
		20
		6
		9

合計

受検番号

国語解答 計100点

(注) ここに示した以外の細部については、学校ごとに統一すること。

問題	正答	配点	備考
一 20点	① あてまき ② しょうげき ③ し ④ あざ ⑤ こぶ ⑥ 編 ⑦ 粉雪 ⑧ 植樹 ⑨ 推移 ⑩ 拾	各2点 計20点	
二 27点	問一 イ 問二 A 恥すかしさ B 誇らしさ 問三 形容詞 寂しい 活用形 連体(形) 問四 エ 問五 朝美が作文を書いたことで、 本当は手放し、別れたくなかつた 桃子の売却を思い留まる (三十九字) 問六 ア	問一 3点 問二 各3点 計6点 問三 3点 問四 3点 問五 8点 問六 4点	問三 ともに正解で正答とする。 問五 正答の一例である。
三 24点	問一 ウ 問二 イ 問三 A 当たり前 B たくさんの時間と労力 問四 ア 問五 変化や多様性に、注意と関心 と、さらには尊敬を払い、自分 の立場と、他の立場にいる人び との主張とを常に見比べる (五十三字)	問一 3点 問二 3点 問三 各3点 計6点 問四 4点 問五 8点	問五 正答の一例である。 次の二つの内容が書かれている こと。①「(文化の)変化や多様性 に、注意と関心と、さらには尊敬 を払う(ことが必要だ)」というこ と。②「自分の立場と、他の立場 にいる人びとの主張とを常に見比 べる(ことが必要だ)」というこ と。
四 14点	問一 いう 問二 イ 問三 A 古い和歌に託して B 和歌の奥深さ	問一 2点 問二 4点 問三 各4点 計8点	問三 正答の一例である。
五 15点	問一 約半数の生徒がうまくできな い(十四字) 問二 (略)	問一 5点 問二 10点	問一 正答の一例である。 表記等に誤りがなく、グラフか ら分かることが述べられているこ と。 問二 内容①友達と話し合うとき に、一番大切なことについて自分 の考えが述べられていること。 ②そのように考えた理由が、具体 的な例、あるいは体験を交えて述 べられていること。)と表記(表記 等に誤りがなく、言葉の使い方が 適切であること。)について、総合 的に評価すること。